

(別表3) 健康福祉学部看護学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果 (d.+ e.)									
				d.知識・理解及び技術					e.普遍的に有用性を持つ能力				
				コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解	国際的視点	災害医療に貢献する力	
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術 幅広い教養としての知識・理解	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えようとするとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	情報通信技術を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。	国際交流等を通じて世界に目を向け、将来国際的に活躍するための基盤を形成する。	大震災などの災害発生時における危機管理に有用な能力を身につける。
健康福祉学部	専門教育科目	解剖学	HNS-101-1	解剖学に関する歴史的背景から、解剖学の総論および靭帯学を含めた骨格系と筋系について基礎的知識を学習する。			○	○	○				
健康福祉学部	専門教育科目	生理学	HNS-102-1	正常な人体の構造とその働きを知ることは、疾患を理解し機能回復をはかるうえで必須のステップである。講義では、生体を構成する各器官がどのような機能に基づいてその器官独自の働きを発現しているのかを学ぶ。生体を構成する筋系、神経系、循環器、呼吸器、内分泌系、泌尿器、消化器などの器官ごとに生理機能の基本的内容を系統的に学習し、生体の営む生命現象の機序を総合的に理解する。			○	○	○				
健康福祉学部	専門教育科目	解剖学演習	HNS-111-1	系統解剖学のうち神経系を中心に学ぶ。発生学的理解と脳、脊髄の構造と機能について学ぶ。更に末梢神経として骨格筋の体性神経系と内臓系の自律神経系、脳神経・脊髄神経を習得する。			○	○	○	○			
健康福祉学部	専門教育科目	生理学演習	HNS-112-1	人の体の「しくみ」についての理解を深める。人間は個体として生きていることはもちろんだが、器官、組織、そして細胞に至るまで、それぞれに生命の「しくみ」がある。どのレベルにおいても、生きるためには、複雑に組み合わさった非常に多くの部品(例えば個々の遺伝子や分子)が正しく制御されなければならない。その部品を統合し制御する「しくみ」を自然科学(生理学)の立場から学習する。			○	○	○	○			
健康福祉学部	専門教育科目	生化学	HNS-103-1	人体を構成する物質や生命活動を、分子レベルで理解することを目的とする。体の各細胞は、遺伝情報により種々のタンパク質を作り出す。細胞は代謝によってエネルギーを生成し、そのエネルギーを用いてそれぞれの細胞に特有な機能を果たす。これらの細胞レベルの生命活動は、神経やホルモンなどによる情報伝達・情報処理によって、臓器レベル、最終的には個体として統合される。これらの生命活動について学び、健康や疾病の意味を理解する。			○	○					
健康福祉学部	専門教育科目	社会福祉論	HNS-106-1	社会福祉の理念と基本的な制度について理解し、生活問題に関する社会福祉の課題とそれに対応するための実践技術(ソーシャルワーク)について理解する。	○		○	○	○	○			
健康福祉学部	専門教育科目	関係法規	HNS-107-1	医療をとりまく状況は時代やニーズによって変化し続けているが、その医療現場において、自らの業務の在り方を考えるために、医療の理念や、医療を提供する施設・人に関する制度、医療従事者等の業務内容などについて規定する法規を概観し、理解する。また、それら法規が医療全体においてどのような位置づけにあるかを理解する。各種法規の理解を通じて職種をとりまく状況・課題を検討する一助となるような講義を行うことを目標とする。	○		○	○	○	○			
健康福祉学部	専門教育科目	生命倫理	HNS-108-1	現在の「看護倫理」は、前世紀後半以降に展開された「生命倫理」の議論を前提としている。その議論の一端を学ぶ。看護師と患者とのよりよい関わりである倫理の基礎となる「インフォームド・コンセント」と「守秘義務、プライバシーの権利、個人情報保護」とはどういうことを理解する。また、医療における倫理問題を考える手がかりとなる「倫理原則」を、終末期医療と生殖医療に関わる指針と臨床事例を検討することによって理解する。	○		○	○	○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	感染・免疫学	HNS-104-1	細菌・真菌・原虫・ウイルスの中でヒトに病気を起こすものを病原微生物という。本講義では、これらの病原微生物がどこにいて、どのようにしてヒトに感染し病気を起こすのか、それを治療し予防するためにはどうしたらよいかについて学ぶ。また、患者と接することで自分自身が感染の危険に晒されることを認識し、あわせて他の患者への感染拡大を防止するための具体的な対策について理解する。	○		○	○		○		○	○
健康福祉学部	専門教育科目	看護学概論 I	HNS-109-1	看護がもつ社会的機能・役割を理解し、保健医療福祉の専門職として、人々の健康・生活へどのようにアプローチしていくかを考える。すなわち、看護実践に関する法律や倫理綱領を理解し、あらゆる対象のニーズを充足するための看護技術、看護のアプローチの方法、および看護職が働く場について学習する。その中で、看護の本質、看護独自の役割について考え、看護の今後の方向性を掴む。		○	○	○	○	○			

(別表3) 健康福祉学部看護学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果 (d.+ e.)									
				d.知識・理解及び技術					e.普遍的に有用性を持つ能力				
				コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解	国際的視点	災害医療に貢献する力	
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術 幅広い教養としての知識・理解	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えようとすると、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	情報通信技術を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。	国際交流を通じて世界に目を向け、将来国際的に活躍するための基盤を形成する。	大震災などの災害発生時における危機管理に有用な能力を身に付ける。
健康福祉学部	専門教育科目	看護学概論Ⅱ	HNS-110-1	看護を科学的に実践するための基盤として、看護過程の基本的な考え方及び看護過程を構成する要素について理解する。また、看護理論などを用いて看護過程を展開するための基本的方法を学ぶ。		○	○	○	○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	地域創生看護学／フィールドワーク演習	HNS-116-1	現在の医療の状況においては、思考力・実践力共に兼ね備えた人材育成が看護基礎教育の段階から求められている。医療の進歩に伴う看護実践能力を培うために、病院というある意味特殊な環境でおこなわれる看護を学習する前段階として、地域に暮らす人びとの暮らしぶりや、生活環境、地域文化について理解を深め、健康や病の諸問題を地域の人びとの暮らしから考察することを通して、看護の対象となる人びとを理解する。	○	○	○	○	○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	国際看護学／医療人類学Ⅰ	HNS-117-1	国際化が加速する日本において、多様な背景を持つ看護の対象への理解を深めることを目的とし、文化・社会規範・価値観と健康や保健医療行動との関係を人類学の視点で理解する。			○	○		○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	医療英語a	HNS-201-2	日本社会で見られる一般的な慢性および急性疾患のいくつかを学生に紹介します。レッスンでは、日本社会で見られる一般的な慢性および急性疾患のいくつかを学生に紹介します。各疾患の原因、症状、治療の概要、投薬を理解することが重要です。これらの病気に関連する必要な英語の語彙を学び、習得することも重要な目的です。医療従事者と患者とのコミュニケーション活動で学んだ語彙や概念を再利用することで、学生は医療を提供するために必要なスピーキングスキルを習得します。同様に重要なのは、レッスンとアクティビティは、生徒の読み書き、リスニング、スピーキングのスキルを高めることに焦点を当てています。	○	○		○				○	○
健康福祉学部	専門教育科目	医療英語b	HNS-202-2	このコースでは、オーラルコミュニケーション、リスニングスキルの向上、流暢な会話、医療現場での適切で正確な表現の使用に焦点を当てます。コース中、生徒はクラス内での質問、ロールプレイング、ディベート、短いプレゼンテーションを通じて英会話を練習します。学生は、キャリアや海外の学生とのコミュニケーションにおいてメディカルイングリッシュを使用することへの自信を高めます。	○	○		○				○	○
健康福祉学部	専門教育科目	臨床薬理学	HNS-203-1	本講義では、薬の主作用・副作用を理解した上で、薬と賢くつきあうことができるようになるために、薬物の体内動態を通じて薬物と生体との相互作用を学ぶ。チーム医療の一員である看護師として、患者への服薬指導、服薬中の患者ケアが安全に確実にできるようになるために、臨床で汎用される薬の主作用・副作用・有害作用を学ぶ。さらに服薬中における注意事項、副作用を見抜く主観的訴えおよび客観的観察方法について学び、看護ケアに活かす。			○	○				○	
健康福祉学部	専門教育科目	病態学	HNS-239-1	病態学総論。疾病の原因と成立、その経過と転帰を、形態学的・機能的観点から理解する。主に循環器系、呼吸器系、消化器系、アレルギー疾患性疾患、自己免疫疾患、腎・尿路系、生殖器系の諸疾患について体系的に理解する。			○	○					
健康福祉学部	専門教育科目	内科学	HPT-211-1	内科学は、臨床医学全般の裾野を形成する領域であり医学の中心的位置を占める。したがって、理学療法および作業療法を学習する学生にとっての共通項・中核となる臨床科目であり、医学と患者及びその家族の信頼関係育成をテーマに学習する。臨床医学的側面より基礎医学的知識を整理し、各臨床分野に応用しその病態生理学を把握させることを目標とする。			○	○				○	
健康福祉学部	専門教育科目	精神科学	HNS-208-1	種々の精神障害の分類に関する考え方や障害が引き起こす症候について教授する。症状を列挙して整理するのではなく、できる限り、疾患の本質的な特徴を理解することを目指すとともに、生活への影響についての理解を目標とする。			○	○			○	○	

(別表3) 健康福祉学部看護学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果 (d.+ e.)										
				d.知識・理解及び技術					e.普遍的に有用性を持つ能力					
				コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解	国際的視点	災害医療に貢献する力		
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術 幅広い教養としての知識・理解	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えようとするとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	情報通信技術を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識・能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	高い倫理観を持って、社会に對し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。	国際交流等を通じて世界に目を向け、将来国際的に活躍するための基盤を形成する。	大震災などの災害発生時における危機管理に有用な能力を身につける。	
健康福祉学部	専門教育科目	外科学	HOT-208-I	将来、医療に携わる関係者として、外科系の患者を扱う際に必要な基本知識について学ぶ。幅広い外科学領域に係る総論・各論の講義を通して、外科学の基本的な知識と最新の情報について学ぶ。			○	○		○				○
健康福祉学部	専門教育科目	周産期学	HNS-210-I	妊娠・分娩に伴う母体の生理的・心理的適応変化および胎児の発育について理解する。さらに、妊娠・分娩に伴う異常を理解し、予防的ケアの基礎について学ぶ。	○	○				○		○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	看護疫学	HNS-204-I	根拠に基づく看護を実践するためには、文献や研究成果を批判的に吟味し自らの実践に活用できること、実施したケアを評価できることは、臨床・地域を問わず看護職にとっての不可欠な資質である。これらのためには看護疫学に関する知識と理解が重要な一翼を担っている。看護疫学の目的と内容について理解できる。看護疫学はケアに必要なエビデンスを作る一分野であることが理解できる。集団を把握するための主要な概念を説明できる。頻度の測定指標について説明できる。要因と健康問題との関係について説明できる。因果関係の判断について説明できる。看護疫学の研究デザインについて理解できる。偏りと交絡、交絡の調整について理解できる。スクリーニングについて理解できる。		○	○	○	○	○		○		
健康福祉学部	専門教育科目	リハビリテーション医学	HPT-219-I	リハビリテーション医学の対象となる疾患は、中枢神経疾患、末梢神経疾患、脳性麻痺などの小児疾患、筋ジストロフィーなどの神経筋疾患、脊髄損傷、慢性関節リウマチなどの骨関節疾患、切断、呼吸循環器疾患、疼痛性疾患などである。これらのうちの主要疾患について、病態、症状、診断、予後およびリハビリテーションの治療手段の概要を学習する。		○	○	○	○	○		○		
健康福祉学部	専門教育科目	看護情報学	HNS-238-I	本科目では、看護にかかわる情報やデータ、知識について理解し、それらを臨床で効果的に活用するための視点や方法、情報管理について学び、理論的に看護情報を実践に活用するための基礎的知識を身につける。看護者の知識の向上と併せ、患者・家族自身が必要な情報を入手し、それを理解・選択し、適切な意思決定や行動がとれるための支援の在り方について考える。	○	○	○	○	○					
健康福祉学部	専門教育科目	人間関係論	HNS-211-I	人と人の中で交される情報のやりとりをコミュニケーションと呼ぶ。本講では看護職としてのコミュニケーションについて考え、実践を通じて基礎的な考え方を学ぶ。概説する内容は、コミュニケーションを自分の理解、対象の理解、関係性の理解などである。また、援助的意図を達成する道具としてのコミュニケーションや、看護の対象となる人々とのコミュニケーションに必要な技術について考える。	○	○	○	○	○	○				
健康福祉学部	専門教育科目	生活援助技術論	HNS-212-I	看護は実践の科学であり、対象に応じた援助として具現化してこそ看護となりうる。本教科目では、各領域の看護学に共通する看護の基本となる技術を取り上げ、健康上のニーズを充足するために必要な「日常生活における看護援助」について、基本的な概念・原理・原則を学習する。また単に技術のみでなく、安全・安楽に、かつ効果・効率的に提供するための基本的知識と科学的根拠に基づいた原理・原則を学習する。	○	○	○	○	○		○			
健康福祉学部	専門教育科目	生活援助技術論演習	HNS-213-I	生活援助技術論で学んだ知識を基盤として、健康を逸脱した対象者のニーズを充足するための「日常生活における看護援助」の方法(看護技術)について、事例を設定し、自立を支援するための援助技術の基本を、演習を通して習得する。また原理、原則を実証する演習や実験も行い、技術に対するエビデンスの視点や安全性、効率性、効果的な援助方法など、技術に対するクリティカルな視点も身につくことも目標とする。	○	○	○	○	○	○				
健康福祉学部	専門教育科目	ヘルスアセスメント論	HNS-214-I	人間の日常生活行動に関わる身体的・生理的なメカニズムの理解、及びそのアセスメント技術について、心理・社会的側面も含め、総合したアセスメントをするための基本的知識を学習する。さらに、健康な日常生活行動を支える身体的機能に関する情報収集手段として、問診・視診・触診・打診・聴診の意義について学び、健康逸脱の可能性のある境界域や高齢化に伴う身体的機能の衰退について、日常生活行動の視点から正常・異常の判断ができることを目的とする。	○	○	○	○		○				

(別表3) 健康福祉学部看護学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果 (d.+ e.)									
				d.知識・理解及び技術					e.普遍的に有用性を持つ能力				
				コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解	国際的視点	災害医療に貢献する力	
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術 幅広い教養としての知識・理解	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えようとするとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	情報通信技術を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。	国際交流等を通じて世界に目を向け、将来国際的に活躍するための基盤を形成する。	大震災などの災害発生時における危機管理に有用な能力を身につける。
健康福祉学部	専門教育科目	ヘルスアセスメント論演習	HNS-215-1	ヘルスアセスメント論で学んだ知識を基盤として、看護の対象となる人の健康状態に焦点をあて、主観・客観的情報を得るための問診・視診・触診・打診・聴診や、各種診断器具を用いたフィジカルイグザミネーションを習得することを目的とする。これらのスキルが身につくことにより、健康逸脱の可能性や高齢化による生理学的機能の衰退など、境界領域について正常・異常の判断が行え、健康に関するアセスメント能力が高まり、看護実践能力を向上させることができる。	○	○	○	○	○	○			
健康福祉学部	専門教育科目	医療支援技術論	HNS-216-1	看護では、日常生活行動を援助する技術と同様に、診療に伴う援助技術を安全・安楽に考慮して提供することが期待される。本教科目では、健康障害を持つ対象者の治療・検査時のニーズを理解するとともに、対象者の身体、心理、社会的側面を総合的に考慮し、根拠に基づいた確実な看護技術の提供を行うための基本的知識を習得する。さらに、倫理的側面、法的側面を含めた看護の役割についても理解する。治療・検査を受ける対象者と家族の理解、薬物療法、感染管理、安全管理、危篤時の看護等を学習する。	○	○	○	○		○			
健康福祉学部	専門教育科目	医療支援技術論演習	HNS-217-1	看護は、対象者が治療や検査を安全で安楽に受けられるように援助するものである。それは対象者の身体、心理、社会的側面を総合的に考慮した上で、根拠に基づいた確実な看護技術の提供により行われる。本教科目は、看護基礎援助学Ⅵで学んだ知識を基盤として、診療場面で一般的に行われる治療や検査に伴う看護技術の基本を習得する。感染予防(無菌操作、隔離、ガウンテクニック)、経管栄養法、薬物療法(皮下注射、静脈内注射、輸液療法の管理他)、検査を受ける患者への援助(静脈採血法及び採血技術チェック)、吸引吸入法等について演習を行う。	○	○	○	○	○	○			
健康福祉学部	専門教育科目	看護過程	HNS-218-1	1)講義:看護実践における科学的な問題解決法を用いた思考過程と理論的枠組みを理解する。 2)演習:看護過程の講義をふまえて、事例を用いて看護過程を展開し、看護実践基礎能力を養う。	○	○	○	○	○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	看護過程演習	HNS-219-1	「人間関係論」で習得した知識を基盤として、看護を科学的に実践するための能力を養うことを目的とする。具体的には、事例を用いて看護過程を個人学習やグループ学習で実際に展開し、人間をホリスティックな存在として全人的に捉えるための枠組みを用いて、看護過程を展開する実践基礎能力を養う。	○	○	○	○	○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	急性期看護学概論	HNS-220-1	急性期・周手術期に健康状態が急激に変化するメカニズムを理解し、患者および家族が回復するための援助を行う際に必要な看護の基本的知識やその場に必要な技術を学ぶ。	○	○	○	○	○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	慢性期看護学概論	HNS-221-1	慢性・長期的疾患を持ち、治療・検査を受けながら社会生活をする対象者・家族の特徴を理解する。対象者が医療者と共同して治療を選択し、症状緩和、セルフケアしていくことを支援し、先を見据えた医療機関と在宅支援の連携、対象者・家族がQOL維持向上をしていくための社会制度を考える基礎を学ぶ。	○	○	○	○	○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	成人看護学概論	HNS-222-1	成人期にある人を理解するために、発達課題からみた特徴ならびにライフサイクルからみた成人の身体的・精神的・社会的な特徴について理解すると共に、健康問題の特徴と基本的な理論を学び、主体的な健康行動の支援について学ぶ。	○	○	○	○	○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	成人看護学演習	HNS-223-1	慢性期および急性期にある人の身体的・心理的变化を理解し、看護アセスメントに必要な基礎的能力を習得し、症状の緩和および回復への援助に必要な実践的知識と技術を習得する。	○	○	○	○	○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	母性看護学概論	HNS-224-1	母性看護学の概念と理論、ライフサイクルにおける母性の身体的・心理社会的特徴を理解を深め看護の対象理解を深める。また、母子と家族の健康推進やプロダクティブヘルス/ライツの促進に影響を与える社会的問題、保健医療福祉の動向を知り、母性看護の役割を考察する。さらに、妊娠期にある女性と胎児の生理的变化や家族支援に関する知識を深める。		○				○		○	

(別表3) 健康福祉学部看護学科カリキュラム・マップ

■ 専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果 (d.+ e.)											
				d.知識・理解及び技術					e.普遍的に有用性を持つ能力						
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術 幅広い教養としての知識・理解	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の 自覚	異なる文化・ 社会への理解	国際的視点	災害医療に貢 献する力		
健康福祉学部	専門教育科目	小児看護学概論	HNS-225-1	子どもの成長・発達や子どもと家族の生活についての知識と小児看護の基礎となる考え方の習得を目指す。授業においては、子どもの身体的、精神的、社会的発達段階、子ども特有の症状と疾患、および健康状態の把握方法を中心に扱う。							○	○		○	
健康福祉学部	専門教育科目	高齢者看護学概論	HNS-226-1	1. 高齢者看護の対象者を人間発達の特徴、人口統計及び社会構造の変化及び災害時のニーズを通して理解する。 2. 加齢に関連する諸概念と理論を理解し、高齢者を身体的・心理的・社会的側面から総合的に捉え、対象者の健康レベルにあわせた効果的な看護を実施する基礎能力を養う。 3. 高齢者への保健・医療・福祉サービスについて理解し、高齢者看護の機能・役割および将来展望を考える。		○									
健康福祉学部	専門教育科目	精神看護学概論	HNS-227-1	精神看護、精神科看護を展開する上で必要となる基本的知識及び考え方を学ぶ。また、対象の精神状態を知るための方法論としての関係の取り方、コミュニケーションの取り方、および理解のための理論的枠組みを学ぶ。概説する内容は、精神看護学概論及び、精神看護の対象と方法、ライフサイクルと危機、ストレスと適応、個人と社会等である。	○							○	○		○
健康福祉学部	専門教育科目	地域看護学概論	HNS-229-1	本科目は公衆衛生の理念に基づいた公衆衛生看護と継続看護を柱とし、地域看護を地域の基盤にした包括的な看護サービスとして捉える。頭にあるいは潜在する地域の人の健康問題に対応した地域看護活動の原理・個人・家族・特定集団(学校保健・産業保健を含む)の生活と健康状態を評価し、問題を解決する基礎的な能力について学習する。	○	○	○	○	○	○	○	○			○
健康福祉学部	専門教育科目	家族発達看護学	HNS-230-1	家族への看護援助活動を実践するために、家族が持つ機能や家族の発達課題を理解し、家族の健康問題を家族周期および家族間の相互関係を基に援助のあり方を学ぶ。1. 家族の発達課題、機能、相互関係について理解する。2. 家族を援助するための諸理論について理解する。3. 家族の健康問題のアセスメントおよび援助のあり方を検討するため、理論を活用することができる。	○			○	○	○	○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	放射線看護学	HNS-237-1	看護職に必要な放射線の基礎、放射線を用いた検査・治療、人への放射線の健康影響・リスク、放射線利用の際の被ばくに対する防護対策、放射線災害がもたらす健康と生活への影響を学ぶ。	○	○	○	○	○	○	○				
健康福祉学部	専門教育科目	基礎看護学実習 I	HNS-231-1	健康上の問題を抱える個人との関わりを通して、対象者の体験を理解し、看護実践の基礎となる知識・技術・態度を養う。具体的には次のとおり。 ① 対象者への積極的な関心をもち、看護の対象としての個人を理解する。 ② 既習の知識・技術(コミュニケーション等)を活用し、対象者との援助関係の基盤を形成する。 ③ 対象者にとって安全かつ快適な療養環境について考え、環境調整のための援助を行う。 ④ 入院・治療が、対象者の日常生活におよぼす影響を理解し、その意味を考える。 ⑤ 対象者に提供される日常生活に関わる援助技術の意味を理解し、原理原則を踏まえて実施する。 ⑥ 診療に関わる援助技術の見学(実習指導者と共に一部実施)することにより、対象者が必要とする援助の意味を理解する。 ⑦ 実習での体験や学びを言語化するとともに、他者との意見交換をとおして、その意味を考える。 ⑧ 個人の尊厳および権利を尊重する態度について考え、それらに基づいた行動をとる。	○	○			○	○	○	○	○		

(別表3) 健康福祉学部看護学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果 (d.+ e.)									
				d.知識・理解及び技術					e.普遍的に有用性を持つ能力				
				コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解	国際的視点	災害医療に貢献する力	
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術 幅広い教養としての知識・理解	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えようとするとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	情報通信技術を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組み姿勢を備えている。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。	国際交流を通じて世界に目を向け、将来国際的に活躍するための基盤を形成する。	大震災などの災害発生時における危機管理に有用な能力を身につける。
健康福祉学部	専門教育科目	小児看護学演習	HNS-305-1	さまざまな健康レベルにある子どもとその家族の状況を適切に査定し、援助をおこなうための基礎的な知識・援助技術を習得し、さらにそれをもとにした働きかけの方法を学ぶ。	○		○			○	○		○
健康福祉学部	専門教育科目	高齢者看護学演習	HNS-306-1	1. 加齢に伴う健康状態の変化(身体的・心理的・社会的変化)を理解し、健康状態に応じた治療を受ける個々の高齢者の看護の方法について演習を通して検討する。 2. 医療・高齢者施設や在宅療養する高齢者に対するアセスメント技術や健康援助技術を理解し、効果的な看護過程を展開する能力を演習を通して養う。 3. 加齢による健康障害や虚弱を理解し、その過程にある高齢者が、支援を受けながらも自立して生きられるような援助を演習を通して検討する。 4. 認知症高齢者に対する専門的看護の理論とケア方法について概説する。		○							
健康福祉学部	専門教育科目	精神看護学演習	HNS-307-1	精神障害を持つ人々とその家族や周囲の人々を、精神看護Ⅰで学んだ知識及び考え方を踏まえ理解し実践的な看護について考える。また、他の看護学領域でのこころのケアについても理解する。概説する内容は、精神疾患を持つ患者の観察・コミュニケーション・看護、地域で生活する患者の看護、リエゾン精神看護、援助関係の築き方である。	○	○				○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	在宅看護学概論	HNS-309-1	療養者とその家族にとっての「生活の場」で行われている在宅看護の特徴を理解し、以下のその基礎的知識を学習すると共に、適切な看護を提供できる基礎的能力を養う。1.地域で生活している人々の視点を持ち、在宅看護の特徴を理解する。2.在宅療養者を看護する3つの視点(訪問看護、退院調整、外来支援)を学習する。3.在宅看護に必要な基礎知識と技術を習得する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	在宅看護学演習	HNS-310-1	在宅看護学で学んだ知識を基に、実習及び臨床で必要となる在宅看護における実践的な視点・多様かつ高度な支援技術を養うと共に、発展・総合的な内容として訪問看護における管理・経理、法・制度体系の学習を通して訪問看護の継続と質の保障に関して学ぶ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	リハビリテーション看護学	HNS-308-1	リハビリテーションを必要とする対象の理解、リハビリテーションチームの活動の土台となる概念、制度、様々な場面での看護の役割と援助の実際を理解する。さらにICF概念を用いて対象者の状況等の個性に応じたリハビリテーション看護を計画する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	看護研究	HNS-311-1	あらゆる看護の場面において、質の高い看護を提供するにあたり、研究は重要かつ不可欠な役割を担っている。ここではまず看護における研究の意義を学び、その上で具体的な研究方法の基礎として、質問紙の作成や統計解析、面接法の基礎的理解や質的分析方法の実際を学ぶことを通じて看護研究への理解を深める。	○	○	○	○		○	○		○
健康福祉学部	専門教育科目	成人看護学実習Ⅰ	HNS-312-1	既習の知識・技術を活用し、慢性・長期的な疾患を持つ患者とその家族を理解するために看護援助を通して、個別的な看護に必要な基礎的能力を習得する。学生5名に対し教員1名が臨地実習指導を行なう。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	成人看護学実習Ⅱ	HNS-313-1	既習の知識・理論・技術を活用し、急性期にある成人期の人、およびその家族が安全で的確な手術を受けることができ、麻酔および手術による侵襲から円滑に回復するための看護援助を考え、指導のもと主体的に看護援助を実施することを通して、個別的な看護に必要な基礎的能力を習得する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	母性看護学実習	HNS-314-1	周産期を中心とした家族形成期の対象を全人的に理解し、正常で健康な妊娠・分娩・産褥期および新生児期の生理的、社会心理的变化を促進する看護援助を実践し、評価する。実習は妊娠期から産褥期、子どもが乳幼児期にある家族を対象として、病院や助産所で行う。	○	○	○			○	○		

(別表3) 健康福祉学部看護学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果(d.+ e.)											
				d.知識・理解及び技術				e.普遍的に有用性を持つ能力							
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術 幅広い教養としての知識・理解	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の 自覚	異なる文化・ 社会への理解	国際的視点	災害医療に貢 献する力		
健康福祉学部	専門教育科目	多職種連携Ⅲ	HOT-424-1	内容(1)ある課題(事例など)に沿ったテーマで演劇グループを作成し、演劇という集団活動を通じた当事者意識の中で、多職種連携の道筋を探る。 内容(2)保健・医療・福祉の専門職学生は、将来一緒に働く他の専門職(学生)それぞれの専門性と役割についての十分な知識と共通理解のための基盤を築く必要がある。このモジュールの目的は、お互いの専門性について、お互い同士でそれぞれの知識と技術を教え合うことで、より深い相互理解のための機会を提供し、共通のサービス基盤を築くための基礎とすることを目的にしている。	○	○				○	○				
健康福祉学部	専門教育科目	障がい者とスポーツ論	HPT419-1	スポーツを通じてリハビリテーションの可能性や専門領域の広さを学ぶ。専門職に求められるスポーツ支援や地域で行われているスポーツ活動について理解する。障害特性に合わせた運動の処方や競技、リスク管理や制度を理解すること目標とする。補講の実習を行うことで初級障がい者スポーツ指導員資格を取得することができる。	○	○	○	○		○	○	○			
健康福祉学部	専門教育科目	国際看護学/医療人類学Ⅱ	HNS-424-1	これまでの学習で培ってきた自己の経験を問い直しながら、多様なものの見方や価値観を再発見することができる。とりわけ、開発途上国や先進諸国の健康や病の諸問題を相対化しながら、個別の事象に対する人類学的な視点を学び、文化的・社会的側面から対象者への看護について考察する。	○		○	○		○	○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	公衆衛生看護学概論	HNS-417-1	地域で生活する人々とその家族、集団・組織と地域全体を対象とした公衆衛生看護実践の展開方法と、実践の根拠となる法制度の知識を学ぶ。	○	○	○	○		○	○	○	○		○
健康福祉学部	専門教育科目	公衆衛生看護学診断論	HNS-418-1	地域に生活する人々の健康課題の解決に向けた、地域診断過程の展開の方法と技術を学ぶ。	○	○	○	○		○	○	○	○		○
健康福祉学部	専門教育科目	公衆衛生看護学演習	HNS-425-1	地域に生活する人々の健康、疾病・障害の予防と回復への支援に関する基本的な技術を学ぶ。	○	○	○	○		○	○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	公衆衛生看護管理論	HNS-419-1	授業方針・テーマ 公衆衛生看護管理についての基本的な知識を理解する。また、公衆衛生看護実践での事業評価や管理の実践について、実習での学びを振り返り、考察する。	○	○	○	○		○	○	○	○		○
健康福祉学部	専門教育科目	公衆衛生看護学実習	HNS-420-1	公衆衛生看護活動の実際を体験することを通じて、既習の知識・技術を統合し、基本的な技術と実践に必要な能力を養う。具体的には次のとおり。 ① 地域に生活する人々とその家族の健康上のニーズを把握する。 ② 地域の健康課題の解決をめざした公衆衛生看護活動の展開(計画・実施・評価)について、理解する。 ③ 地域住民のニーズに必要に応じて必要な援助ができるよう、公衆衛生看護活動の基本的な援助技術を理解する。 ④ 地域における様々な組織・機関の連携のあり方と、地区組織活動について理解する。 ⑤ 公衆衛生看護活動を行う保健師の機能と役割について理解する。	○	○	○	○		○	○	○	○		○

(別表2) 健康福祉学部理学療法学科カリキュラム・マップ

■ 専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果 (d.+ e.)									
				d.知識・理解及び技術		e.普遍的に有用性を持つ能力							
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術	幅広い教養としての知識・理解	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解	
				1年次からの系統的な専門分野の学習、および臨床実習、卒業研究を実施することにより、卒業時に理学療法士国家試験受験資格が取得できる。	基礎医学、臨床医学、および理学療法学の専門教育を通して、それに取り組む能動的学修姿勢を身に付けるとともに、これらの課題を研究する過程で医療職としての論理的思考力を鍛え、基本的な医療関係の知識を活用して問題解決を探る総合的な思考ができる。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝え、かつほかの医療関係職種との議論を通して協調しながら理学療法を行うことができる。	情報通信技術を用いて、医療における情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、対象者の医療的問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解し、自らの考えを論理的に組み立てることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	医療職としての高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。	
1	健康福祉学部	専門教育科目	医療英語a	HPT-21-1	病気に関連する必要な英単語を学び、獲得することができる。講義やアクティビティにより、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングのスキルを向上することができる。		○	○	○	○	○	○	○
2	健康福祉学部	専門教育科目	医療英語b	HPT-21-2	口頭でのコミュニケーション、リスニングスキルの向上、語学力の向上、医療現場での適切かつ正確な表現の使用できる。また、医療現場での医学英語の使用に対する自信を深め、留学生とのコミュニケーションを図ることができる。		○	○	○	○	○	○	○
3	健康福祉学部	専門教育科目	運動学 I	HPT-11-1	運動学の基本概念・身体メカニズムを骨・関節・筋・神経系からなる運動器を主体に学習し、さらに運動解析・運動発達の過程などを理解することを授業目標にする。			○	○	○			
4	健康福祉学部	専門教育科目	解剖学 I	HPT-12-1	骨の基本構造、各骨における形態特徴および各部位の名称を説明することができる。骨連結(関節・靭帯・筋膜)の形態構造を説明することができる。各筋(腱)の附着部・走行と働きを説明することができる。			○	○	○	○		
5	健康福祉学部	専門教育科目	解剖学演習	HPT-13-1	理学・作業療法学科の対象となる患者には中枢神経疾患も多く、その基礎的知識を習得する。神経系の一般構造および中枢神経系の発生について、説明することができる。大脳・間脳・脳幹・小脳・脊髄の基本構造と機能を説明することができる。神経伝導路の基本原則を説明することができる。脳神経・脊髄神経(自律神経を含め)の分類・局在・走行およびその働きを説明することができる。			○	○	○	○		
6	健康福祉学部	専門教育科目	生理学 I	HPT-14-1	人体を構成している諸器官・臓器の正常な機能とそれらの調節・制御機構(主に動物性機能)を理解し、最終的には自然科学の目から統合的に人体を把握できる。			○	○	○	○		
7	健康福祉学部	専門教育科目	生理学演習	HPT-15-1	人体を構成している諸器官・臓器の正常な機能とそれらの調節・制御機構(主に植物性機能)を理解し、最終的には自然科学の目から統合的に人体を把握できる。			○	○	○	○		
8	健康福祉学部	専門教育科目	運動学 II	HPT-23-1	運動学 I に引き続き、理学療法・作業療法の基礎となる運動学の各論について学ぶ。			○	○	○	○		
9	健康福祉学部	専門教育科目	解剖学 II	HPT-24-1	人体の各内臓系の構成を説明することができる。各内臓系の臓器の位置、周囲臓器との配置関係を説明することができる。各臓器の構造特徴および関連機能を説明することができる。			○	○	○	○		
10	健康福祉学部	専門教育科目	解剖学実習	HPT-25-1	骨学実習：各骨の各部位につけられている名称および関連する筋・神経・血管の分布走行、各骨がどのような関節を作っているかを説明することができる。組織学実習：顕微鏡解剖学的にみられる組織像を、筋骨格系、神経系、或いは特定内臓であることを併列することができる。動物解剖学実習：神経系、筋骨格系、内臓系におけるヒトとの比較を説明することができる。人体解剖学実習(実見実習)：脳・脊髄を含む神経系、筋系、内臓系の主な臓器を概要的に説明することができる。			○	○	○	○	○	
11	健康福祉学部	専門教育科目	生理学実習	HPT-26-1	実験科学の方法論に基づいて、自ら実験を行い結果を解析して現象の原理を考察する体験を行うことで、分析的・論理的な自然科学の基本的思考過程を涵養することを目的とする。更に行った実験の概要を他人が読んでも理解できるように、実験内容を文章によって再構築して報告書として取りまとめることができる能力の涵養も目指す。			○	○	○	○		
12	健康福祉学部	専門教育科目	生理学 II	HPT-41-1	理学療法士・作業療法士に求められる生理学の知識と生理学的、薬理学的視点を修得し、臨床現場で応用できる能力を獲得することができる。			○	○	○	○		
13	健康福祉学部	専門教育科目	生活支援環境学	HPT-48-1	快適な環境の基礎知識について安全性や機能性の面から、理学療法士・作業療法士として生活や移動動作を支援する立場から物理的環境についての理解を深めることができる。			○	○	○	○	○	
14	健康福祉学部	専門教育科目	保健医療臨床心理学	HPT-17-1	臨床心理学の対象と方法から、保健・医療・福祉などの場面で必要とされる心理学的知識と、その実践場面を想定し、対人交流の仕方から医療場面における自己に関する理解を深めることができる。		○	○	○	○	○	○	
15	健康福祉学部	専門教育科目	感染・免疫学	HPT-18-1	感染症の成立に関わる3つの因子(病原性微生物・感染経路・人の感染抵抗性)について、感染症学、及び免疫学の基本知識を理解し、身体が持つ感染症に対する抵抗性のメカニズムの概略を理解することができる。			○	○	○	○	○	
16	健康福祉学部	専門教育科目	関係法規(理学・作業)	HPT-19-1	変化する医療現場において、自らの業務の在り方を考えるためには、医療の理念や、医療を提供する施設・人に関する制度、医療従事者等の業務内容などについて規定する法規を概観し、理解すること、それらの法規の医療全体における位置付けを理解することができる。		○	○	○	○	○	○	
17	健康福祉学部	専門教育科目	生化学	HPT-110-1	生命活動に必要な物質の機能と、それらの代謝機構を理解することができる。			○	○	○	○	○	
18	健康福祉学部	専門教育科目	薬理学概論	HPT-111-1	生理学・生化学の基礎知識をふまえて、薬物の作用発現のメカニズム(作用機序)と生体との相互作用について概説できる。				○	○	○	○	
19	健康福祉学部	専門教育科目	精神医学 I	HPT-112-1	各種の精神障害において、どのような精神症状が出現するのか、どのような経過をたどるのか、またどのような原因が関係するとかんがえられているのか、について理解することができる。		○	○	○	○	○	○	
20	健康福祉学部	専門教育科目	公衆衛生学	HPT-27-1	公衆衛生学が人間集団の健康を支える予防的な活動分野であること、人々の健康・生活状態に対応して常に発展しつつあることを理解し、主要な活動内容について理解できる。さらに、集団の健康について普段から意識する態度を身につける。				○	○	○	○	
21	健康福祉学部	専門教育科目	病態学 I	HPT-28-1	疾病の原因と成立、その経過と転帰を、形態学的・機能的観点から踏まえて、諸疾患を体系的に理解する。				○	○	○	○	
22	健康福祉学部	専門教育科目	病態学 II	HPT-29-1	身体を構成する諸臓器・器官系統それぞれの形態学的・機能的特徴を踏まえて、そこに発生する各疾患の診断・治療・転帰の臨床病理・病態学を体系的に理解する。				○	○	○	○	
23	健康福祉学部	専門教育科目	外科学	HPT-210-1	将来、医療に携わる関係者として、外科系の患者を扱う際に必要な基本的な知識と最新の情報を理解する。				○	○	○	○	
24	健康福祉学部	専門教育科目	内科学	HPT-211-1	臨床医学的側面を基礎医学的知識(生理学・生化学)を用いて各臨床分野に応用し、その病態生理を把握する。				○	○	○	○	
25	健康福祉学部	専門教育科目	脳神経外科学	HPT-212-1	中枢神経系疾患の病態生理と治療法を学び、リハビリテーション医学への応用を考える。		○	○	○	○	○	○	
26	健康福祉学部	専門教育科目	小児科学	HPT-213-1	小児リハビリテーションを展開するうえで必要となる小児保健学、小児病学の基本的な知識を習得する。				○	○	○	○	
27	健康福祉学部	専門教育科目	神経内科学 I	HPT-214-1	神経解剖学の概要を把握し、臨床神経病学の各疾病の病態生理学を把握する。				○	○	○	○	
28	健康福祉学部	専門教育科目	神経内科学 II	HPT-215-1	神経解剖学の概要を把握し、臨床神経病学の各疾病の病態生理学を把握する。				○	○	○	○	
29	健康福祉学部	専門教育科目	精神医学 II	HPT-216-1	精神障害の経過を通して、障害を持つ患者がどのような生活を強いられるのか、人生の可能性を制限されるのか、どのように症状や障害と付き合っていくのかについて理解を深める。		○	○	○	○	○	○	

(別表2) 健康福祉学部理学療法学科カリキュラム・マップ

■ 専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果 (d.+ e.)									
				d.知識・理解及び技術		e.普遍的に有用性を持つ能力							
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術	幅広い教養としての知識・理解	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解	
				1年次からの系統的な専門分野の学習、および臨床実習、卒業研究を実施することにより、卒業時に理学療法士国家試験受験資格が取得できる。	基礎医学、臨床医学、および理学療法学の専門教育を通して、それに取り組む能動的学修姿勢を身に付けるとともに、これらの課題を研究する過程で医療職としての論理的思考力を鍛え、基本的な医療関係の知識を活用して問題解決を探る総合的な思考ができる。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝え、医療における情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	情報通信技術を用いて、医療における情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、対象者の医療的問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解し、自らの考えを論理的に組み立てることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	医療職としての高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。	
30	健康福祉学部	専門教育科目	整形外科学 I	HPT-217-1	整形外科の基本的な事項に関して学ぶ。			○	○	○	○	○	
31	健康福祉学部	専門教育科目	整形外科学 II	HPT-218-1	整形外科分野の臨床に関して疾患ごとに学ぶ。			○	○	○	○	○	
32	健康福祉学部	専門教育科目	リハビリテーション医学	HPT-219-1	リハビリテーション医学の基本理論を学ぶ。			○	○	○	○	○	
33	健康福祉学部	専門教育科目	精神保健学	HPT-32-1	精神障害を含めた、障害者や患者を取り巻く心理・社会的な問題などについて多面的に理解する素養を身につける。								
34	健康福祉学部	専門教育科目	老年医学	HPT-33-1	高齢者診療に際し、修得すべき知識を、基礎的事項と臨床的事項に分けて学ぶ。			○	○	○	○	○	
35	健康福祉学部	専門教育科目	社会心理学	HPT-34-1	社会心理学のいくつかの研究を通して、自己と他者の関係、社会が個人に及ぼす影響など、「個人」と「社会」との多様な関わり方について学ぶ。			○	○	○	○	○	
36	健康福祉学部	専門教育科目	教育心理学	HPT-35-1	教育心理学の中でも「他者との関わり」と「学び」に焦点を当てて学ぶ。			○	○	○	○	○	
37	健康福祉学部	専門教育科目	保健医療社会学	HPT-36-1	小児リハビリテーションを展開するうえで必要となる小児保健学、小児病学の基本的な知識を習得する。				○	○	○	○	
38	健康福祉学部	専門教育科目	障害児教育論	HPT-37-1	特別支援教育への制度転換の経緯と内容及び今日の課題について理解し、各種障害の障害特性や発達の特徴について学ぶ。			○	○	○	○	○	
39	健康福祉学部	専門教育科目	画像診断学	HPT-38-1	理学・作業療法に必要な疾患を中心に、画像診断の基礎を学ぶ。			○	○	○	○	○	
40	健康福祉学部	専門教育科目	健康管理論	HPT-39-1	我が国の疾病構造の推移と諸外国との差を十分理解した上で、健康管理の方法について、一次予防・二次予防の立場から学ぶ。			○	○	○	○	○	
41	健康福祉学部	専門教育科目	言語聴覚治療学概論	HPT-310-1	言語コミュニケーション障害、高次脳機能障害、摂食嚥下障害の症状、発症メカニズム、生活において生じる問題について理解し、評価・訓練・援助の原則について学ぶ。			○	○	○	○	○	
42	健康福祉学部	専門教育科目	救急医学	HPT-42-1	最近のガイドラインに基づいた心肺蘇生法、ショック、意識障害、重度外傷、環境因子、感染症、災害対応等、各救急領域の学問に対する概要と対応法について学ぶ。			○	○	○	○	○	
43	健康福祉学部	専門教育科目	ケア・マネジメント論	HPT-43-1	ケアマネジメントについての歴史、概念、基本的技術に関する知識について学ぶ。			○	○	○	○	○	
44	健康福祉学部	専門教育科目	リハビリテーション工学	HPT-414-1	リハビリテーション工学とは、工学をリハビリテーションに活用する学問の総称である。この授業では、生活支援ロボット、医療ロボットなどを題材として、工学とセラピストの関わりを学ぶ。			○	○	○	○	○	
45	健康福祉学部	専門教育科目	臨床心理学演習	HPT-45-1	心理検査や心理療法やカウンセリングの基礎としての関わり技法を中心に、実技を通して学ぶ。			○	○	○	○	○	
46	健康福祉学部	専門教育科目	理学療法学概論	HPT-113-1	理学療法学の概要および基本的知識について学習し、理学療法士の資質などを考え、理学療法業務を理解する。			○	○	○	○	○	
47	健康福祉学部	専門教育科目	基礎理学療法学	HPT-114-1	理学療法に関する基本的な理論を学ぶ。		○		○	○	○	○	
48	健康福祉学部	専門教育科目	理学療法学基礎実習	HPT-220-1	理学療法に関する基本的な技術を、実技を通して学ぶことができる。臨床現場における理学療法見学を含む。		○	○	○	○	○	○	
49	健康福祉学部	専門教育科目	理学療法機器技術学	HPT-221-1	理学療法で使用する検査・測定機器、治療機器を適切に使用するための基礎的事項、注意事項、使用上の技術などを学ぶ。			○	○	○	○	○	
50	健康福祉学部	専門教育科目	筋・骨格系理学療法学	HPT-222-1	運動器疾患に対する理学療法について基本的な技術を学ぶ。		○	○	○	○	○	○	
51	健康福祉学部	専門教育科目	筋・骨格系理学療法学実習	HPT-223-1	筋骨格系疾患として理学療法士が対象とする主な疾患を取りあげ、その理学療法について知識と技術を学ぶ。		○	○	○	○	○	○	
52	健康福祉学部	専門教育科目	中枢神経系理学療法学	HPT-224-1	脳卒中片麻痺患者の病態・評価・治療法を学習し、エビデンスに基づいた理学療法の概要を理解することを授業目標とする。				○	○	○	○	
53	健康福祉学部	専門教育科目	中枢神経系理学療法学実習	HPT-225-1	中枢神経障害の代表的疾患として脳血管障害、パーキンソン病、脳性まひなどを取り上げ、これらの疾患の理学療法について学ぶ。				○	○	○	○	
54	健康福祉学部	専門教育科目	日常生活活動学	HPT-226-1	生活していく上で毎日繰り返される基本的な生活動作について、運動学的視点と生活や活動の視点から理解する。		○	○	○	○	○	○	
55	健康福祉学部	専門教育科目	機能・能力診断学	HPT-227-1	神経・筋骨格系疾患の運動機能障害の評価方法である徒手筋力検査法(manual muscle testing, MMT)の原理・手順・方法を学び、その知識と技術を修得することができる。		○	○	○	○	○	○	
56	健康福祉学部	専門教育科目	機能・能力診断学実習 I	HPT-228-1	理学療法士として患者の身体的な問題点を把握するための一連の評価の課程を理解し、実施できるようになる。		○	○	○	○	○	○	
57	健康福祉学部	専門教育科目	機能・能力診断学実習 II	HPT-229-1	理学療法士として患者の身体的な問題点を把握するための一連の評価の課程を理解し、実施できるようになる。		○	○	○	○	○	○	
58	健康福祉学部	専門教育科目	運動学実習	HPT-31-1	運動学 I・II で学んだ知識について、観察や計測機器を用いて分析することを実践し運動学に関する事象の理解を深める。		○	○	○	○	○	○	
59	健康福祉学部	専門教育科目	物理療法学	HPT-311-1	温熱、寒冷、光線などの物理的手段が生体に与える影響について学び、さらにこれらの手段を治療方法として用いる場合の具体的方法、適応と禁忌について学び、その知識と技術を修得することができる。		○	○	○	○	○	○	
60	健康福祉学部	専門教育科目	物理療法学実習	HPT-312-1	物理療法学を行う上での、基礎的な物理学的・生理学的基礎を理解した上で、実際の電気療法・水中運動療法・牽引療法を安全に実施できるようにする。		○	○	○	○	○	○	
61	健康福祉学部	専門教育科目	神経・筋系理学療法学	HPT-313-1	筋原性および神経原性疾患の病態の理解と、理学療法における評価法、治療プログラム作成、実施法について学習する。			○	○	○	○	○	

(別表2)健康福祉学部理学療法学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果(d.+ e.)									
				d.知識・理解及び技術		e.普遍的に有用性を持つ能力							
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術	幅広い教養としての知識・理解	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解	
				1年次からの系統的な専門分野の学習、および臨床実習、卒業研究を実施することにより、卒業時に理学療法士国家試験受験資格が取得できる。	基礎医学、臨床医学、および理学療法学の専門教育を通して、それに取り組む能動的学修姿勢を身に付けるとともに、これらの課題を研究する過程で医療職としての論理的思考力を鍛え、基本的な医療関係の知識を活用して問題解決を探る総合的な思考ができる。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝え、医療における情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	情報通信技術を用いて、医療における情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、対象者の医療的問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解し、自らの考えを論理的に組み立てることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	医療職としての高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。	
62	健康福祉学部	専門教育科目	神経・筋系理学療法実習	HPT-314-1	脊髄損傷、末梢神経損傷、筋原性疾患、神経原性疾患についての病態と障害を理解し、理学療法評価、理学療法プログラムの立案と実施ができるようになる。		○	○	○	○	○	○	
63	健康福祉学部	専門教育科目	義肢装具学	HPT-315-1	下肢装具・体幹装具の原理、種類、適応、チェックアウトについて学ぶ。			○	○	○	○	○	
64	健康福祉学部	専門教育科目	義肢装具学実習	HPT-316-1	義足の種類、各種パーツとその特性、異常歩行の原因の究明とその修正方法を習得する。下肢装具の原理、種類、適応について学ぶ。			○	○	○	○	○	
65	健康福祉学部	専門教育科目	徒手技術学 I	HPT-317-1	小児領域の理学療法に関する技術を学ぶ。			○	○	○	○	○	
66	健康福祉学部	専門教育科目	徒手技術学 I 実習	HPT-318-1	理学療法の基礎となる徒手理学療法に重点を置き、それらの特殊技術を用いた治療方法を疾患別に応用できることを学習目標とする。		○	○	○	○	○	○	
67	健康福祉学部	専門教育科目	徒手技術学 II	HPT-319-1	整形外科および中枢神経系疾患に対して使用されるPNFの理論・技法を理解し、基本的手技を施行できることを授業目標とする。			○	○	○	○	○	
68	健康福祉学部	専門教育科目	徒手技術学 II 実習	HPT-320-1	成人の脳障害者に応用可能な技術を中心に急性期～慢性期に至るに合せて治療を展開する基本を習得する。		○	○	○	○	○	○	
69	健康福祉学部	専門教育科目	心肺系理学療法学	HPT-321-1	心肺系(呼吸循環系)の基礎、エネルギー代謝、エネルギー消費量の推定法、糖尿病の病態・評価・理学療法について学び、その知識と技術を修得することができる。		○	○	○	○	○	○	
70	健康福祉学部	専門教育科目	心肺系理学療法学実習	HPT-322-1	虚血性心疾患などの循環器疾患と肺気腫などの呼吸器疾患患者に対する急性期および慢性期の理学療法を学ぶ。			○	○	○	○	○	
71	健康福祉学部	専門教育科目	小児理学療法学	HPT-323-1	小児領域の理学療法に関する理論について学ぶ。			○	○	○	○	○	
72	健康福祉学部	専門教育科目	高齢者理学療法学	HPT-324-1	加齢の生理変化、身体的・心理的特性を理解し、高齢者に多く認められる疾病と障害を理解し、その特性に対応した学療法的アプローチを学習する。			○	○	○	○	○	
73	健康福祉学部	専門教育科目	臨床運動学	HPT-325-1	運動学、運動学実習で習得した知識技術を理学療法対象疾患に応用し、それぞれの疾患について運動学的に考察する。			○	○	○	○	○	
74	健康福祉学部	専門教育科目	日常生活活動学実習	HPT-326-1	日常生活活動学で学習したことを基に、理学療法の対象となる疾患について評価方法と指導方法を習得する。		○	○	○	○	○	○	
75	健康福祉学部	専門教育科目	理学療法学セミナー	HPT-327-1	専門教育科目の知識を統合してPBL形式で疾患別に妥当な理学療法プログラムの作成ができることを目標にする。		○	○	○	○	○	○	
76	健康福祉学部	専門教育科目	理学療法研究法	HPT-49-1	理学療法に関する研究の成果としての研究論文を精読できるように研究に関する方法論について学習する。		○	○	○	○	○	○	
77	健康福祉学部	専門教育科目	地域理学療法学	HPT-46-1	地域理学療法の考え方、施設(介護老人保健施設、介護老人福祉施設、通所施設など)、在宅での理学療法および制度に関する知識・技術を習得する。		○	○	○	○	○	○	
78	健康福祉学部	専門教育科目	職業倫理職場管理学	HPT-47-1	臨床の場で理学療法士が理解しておくべき法律・制度・具体的事例による演習を通して質の高い職業倫理観、管理方法、研究法を身につける。			○	○	○	○	○	
79	健康福祉学部	専門教育科目	生活環境学	HPT-48-1	生活障害のある障害者・高齢者の疾患・障害特性に応じた生活環境整備の手法を習得する。			○	○	○	○	○	
80	健康福祉学部	専門教育科目	卒業研究	HPT-411-1	研究法に関して具体的に学ぶ。		○	○	○	○	○	○	
81	健康福祉学部	専門教育科目	運動学習	HPT-413-1	運動学習理論の歴史的展開と基本概念を学び、運動を学習するうえでの理学療法への応用について考察できるようにする。			○	○	○	○	○	
82	健康福祉学部	専門教育科目	代謝系理学療法学	HPT-415-1	代謝系疾患特に糖尿病の病態を理解しこれに対応した理学療法の実践について学習する。			○	○	○	○	○	
83	健康福祉学部	専門教育科目	症例研究法	HPT-412-1	動器疾患の症例に対する全身の筋バランスの診方とインバランスの修正方法について講義と実技を行う。また、症例提示によるグループ討論を行う。								
84	健康福祉学部	専門教育科目	スポーツ系理学療法学	HPT-416-1	スポーツ外傷・障害に対する理学療法評価・治療について学ぶ。スポーツ選手が復帰するまでの過程として、メディカル・リハビリテーションからアスレティック・リハビリテーションに至る段階的リハビリテーションについて学ぶ。		○	○	○	○	○	○	
85	健康福祉学部	専門教育科目	高次神経機能障害理学療法学	HPT-418-1	高次神経機能障害の主要な症候に関する評価の実際と基本的治療理論とその応用について理解する。			○	○	○	○	○	
86	健康福祉学部	専門教育科目	障害者とスポーツ論	HPT-44-1	障害特性の理解と実際に行われているスポーツ活動についての知識を得て、障害に合わせたスポーツの提案やレクリエーションの提案ができるようになる。		○	○	○	○	○	○	○
87	健康福祉学部	専門教育科目	地域理学療法学実習	HPT-417-1	地域理学療法、地域リハビリテーションの実際を講義、見学実習等により学ぶ。		○	○	○	○	○	○	
88	健康福祉学部	専門教育科目	機能・能力診断学臨床実習	HPT-230-1	臨床実習指導者の指導・監督の下で、理学療法の基本的な評価方法を体験し理解する。		○	○	○	○	○	○	○
89	健康福祉学部	専門教育科目	総合臨床実習 I	HPT-328-1	臨床実習指導者の指導・監督のもとで、理学療法の基本的な評価から治療までの一貫した方法を体験し理解する。		○	○	○	○	○	○	○
90	健康福祉学部	専門教育科目	総合臨床実習 II	HPT-410-1	臨床実習指導者の指導・監督のもとで、理学療法の基本的な評価から治療までの一貫した方法を体験し理解する。		○	○	○	○	○	○	○

(別表2)健康福祉学部作業療法学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果(d.+ e.)												
				d.専門的な知識・理解及び技術					e.普遍的に有用性を持つ能力							
				専門的交流技能	専門的知識	国際性	マネジメント力	科学的思考力	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解	
				コミュニケーション力を身につけ、対象者や家族、他職種等と適切な関係を築き、協業できる。	医療従事者としての基礎的な知識に加え、生活者としての人に対する深い洞察力を持ち、作業療法士として社会に貢献できる。	グローバルな知識と技術を育み、国際的に活躍できる。	マネジメント力やリーダーシップを身につけ、社会的な課題の解決に取り組める。	科学的な視点に立ち、作業療法の発展に寄与する活動や研究に主体的に従事できる。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝え、相手の意見や疑問を的確に理解し、協調して行動することができる。	情報通信技術等を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。	
健康福祉学部	専門教育科目	医療英語 a	HOT-21-2	○		○				○						○
健康福祉学部	専門教育科目	医療英語 b	HOT-22-2	○		○				○						○
健康福祉学部	専門教育科目	解剖学 I	HOT-11-1		○							○				
健康福祉学部	専門教育科目	解剖学 II	HOT-23-1		○							○				
健康福祉学部	専門教育科目	解剖学演習	HOT-12-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	解剖学実習	HOT-24-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	感染・免疫学	HOT-13-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	生理学 I	HOT-14-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	生理学 II	HOT-41-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	生理学演習	HOT-15-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	生理学実習	HOT-25-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	薬理学概論	HOT-16-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	生化学	HOT-17-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	運動学 I	HOT-18-1		○			○	○			○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	病態学 I	HOT-26-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	病態学 II	HOT-27-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	外科学	HOT-28-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	内科学	HOT-29-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	神経内科学 I	HOT-210-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	神経内科学 II	HOT-211-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	整形外科 I	HOT-212-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	整形外科 II	HOT-213-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	精神医学 I	HOT-19-1	○	○					○		○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	精神医学 II	HOT-214-1	○	○					○		○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	小児科学	HOT-215-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	脳神経外科学	HOT-216-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	公衆衛生学	HOT-217-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	画像診断学	HOT-31-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	精神保健学	HOT-32-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	老年医学	HOT-33-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	救急医学	HOT-42-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	リハビリテーション医学	HOT-218-1		○							○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	言語聴覚治療学概論	HOT-34-1	○	○							○	○	○		

(別表2)健康福祉学部作業療法学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果(d.+ e.)												
				d.専門的な知識・理解及び技術					e.普遍的に有用性を持つ能力							
				専門的交流技能	専門的知識	国際性	マネジメント力	科学的思考力	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解	
				コミュニケーション力を身につけ、対象者や家族、他職種等と適切な関係を築き、協業できる。	医療従事者としての基礎的な知識に加え、生活者としての人に対する深い洞察力を持ち、作業療法士として社会に貢献できる。	グローバルな知識と技術を育み、国際的に活躍できる。	マネジメント力やリーダーシップを身につけ、社会的な課題の解決に取り組める。	科学的な視点に立ち、作業療法の発展に寄与する活動や研究に主体的に従事できる。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、相手の意見や疑問を的確に理解し、協調して行動することができる。	情報通信技術等を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。	
34	健康福祉学部	専門教育科目	保健医療臨床心理学	HOT-110-1	○				○			○				
35	健康福祉学部	専門教育科目	社会心理学	HOT-35-1					○			○				
36	健康福祉学部	専門教育科目	教育心理学	HOT-36-1					○							
37	健康福祉学部	専門教育科目	臨床心理学演習	HOT-43-1	○	○			○	○	○					
38	健康福祉学部	専門教育科目	保健医療社会学	HOT-37-1		○							○	○	○	
39	健康福祉学部	専門教育科目	国際保健医療比較論	HOT-44-1		○	○						○	○	○	
40	健康福祉学部	専門教育科目	災害保健科学概論	HOT-45-1		○		○					○	○	○	
41	健康福祉学部	専門教育科目	健康管理論	HOT-219-1				○		○			○	○	○	
42	健康福祉学部	専門教育科目	生活支援環境学	HOT-111-1		○						○				○
43	健康福祉学部	専門教育科目	障害児教育論	HOT-38-1	○	○				○				○		○
44	健康福祉学部	専門教育科目	カウンセリング論	HOT-46-1	○	○				○						○
45	健康福祉学部	専門教育科目	ケア・マネジメント論	HOT-47-1		○		○		○				○	○	○
46	健康福祉学部	専門教育科目	関連法規	HOT-112-1		○								○	○	○
47	健康福祉学部	専門教育科目	リハビリテーション工学	HOT-48-1	○	○			○	○	○	○	○	○	○	
48	健康福祉学部	専門教育科目	住環境整備学	HOT-49-1	○	○		○		○			○	○	○	○
49	健康福祉学部	専門教育科目	住環境整備学実習	HOT-410-1	○	○		○		○			○	○	○	
50	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法学概論	HOT-113-1		○	○		○				○	○	○	
51	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法学概論演習	HOT-114-1	○	○			○				○	○	○	
52	健康福祉学部	専門教育科目	基礎作業学	HOT-115-1	○	○	○		○	○			○	○	○	○
53	健康福祉学部	専門教育科目	基礎作業学実習	HOT-220-1	○	○			○	○			○	○	○	
54	健康福祉学部	専門教育科目	コミュニケーション論	HOT-116-1	○	○		○		○			○	○	○	
55	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法評価学	HOT-221-1	○	○			○	○			○	○	○	
56	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法評価学演習	HOT-222-1	○	○			○	○	○		○	○	○	
57	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法評価学実習	HOT-223-1	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○
58	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法総合演習Ⅰ	HOT-224-1	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○
59	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法総合演習Ⅱ	HOT-39-1	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○
60	健康福祉学部	専門教育科目	運動学Ⅱ	HOT-225-1		○			○				○	○	○	
61	健康福祉学部	専門教育科目	作業運動学実習	HOT-226-1	○	○			○	○	○		○	○	○	
62	健康福祉学部	専門教育科目	身体作業療法学Ⅰ	HOT-227-1		○			○				○	○	○	
63	健康福祉学部	専門教育科目	身体作業療法学Ⅰ実習	HOT-310-1	○	○		○		○	○		○	○	○	
64	健康福祉学部	専門教育科目	身体作業療法学Ⅱ	HOT-311-1		○		○	○				○	○	○	
65	健康福祉学部	専門教育科目	認知作業療法学演習	HOT-312-1	○	○		○	○	○	○		○	○	○	
66	健康福祉学部	専門教育科目	身体作業療法学Ⅲ	HOT-313-1		○			○				○	○	○	

(別表2)健康福祉学部作業療法学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果(d.+ e.)											
				d.専門的な知識・理解及び技術					e.普遍的に有用性を持つ能力						
				専門的交流技能	専門的知識	国際性	マネジメント力	科学的思考力	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
				コミュニケーション力を身につけ、対象者や家族、他職種等と適切な関係を築き、協業できる。	医療従事者としての基礎的な知識に加え、生活者としての人に対する深い洞察力を持ち、作業療法士として社会に貢献できる。	グローバルな知識と技術を育み、国際的に活躍できる。	マネジメント力やリーダーシップを身につけ、社会的な課題の解決に取り組める。	科学的な視点に立ち、作業療法の発展に寄与する活動や研究に主体的に従事できる。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、相手の意見や疑問を的確に理解し、協調して行動することができる。	情報通信技術等を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
67	健康福祉学部	専門教育科目	精神作業療法学	HOT-228-1	○	○			○	○			○	○	○
68	健康福祉学部	専門教育科目	精神作業療法学演習	HOT-314-1	○	○		○	○	○		○	○	○	○
69	健康福祉学部	専門教育科目	治療的レク・グループワーク論	HOT-315-1	○	○		○		○		○	○	○	
70	健康福祉学部	専門教育科目	発達作業療法学	HOT-316-1		○			○				○		
71	健康福祉学部	専門教育科目	発達作業療法学演習	HOT-317-1	○	○			○	○		○	○		
72	健康福祉学部	専門教育科目	老年作業療法学	HOT-318-1	○	○	○					○		○	
73	健康福祉学部	専門教育科目	老年作業療法学演習	HOT-319-1	○	○		○		○	○	○	○	○	
74	健康福祉学部	専門教育科目	日常生活活動学	HOT-229-1	○	○			○	○	○	○	○	○	
75	健康福祉学部	専門教育科目	日常生活活動学実習	HOT-320-1	○	○			○	○	○	○	○	○	
76	健康福祉学部	専門教育科目	生活支援機器学演習	HOT-321-1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
77	健康福祉学部	専門教育科目	義肢装具学	HOT-322-1		○				○			○		
78	健康福祉学部	専門教育科目	義肢装具学実習	HOT-323-1		○	○		○	○	○	○			○
79	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法初期臨地実習Ⅰ	HOT-230-1	○	○			○	○	○	○	○	○	
80	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法初期臨地実習Ⅱ	HOT-324-1	○	○			○	○	○	○	○	○	
81	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法総合臨地実習Ⅰ	HOT-325-1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
82	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法総合臨地実習Ⅱ	HOT-411-1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
83	健康福祉学部	専門教育科目	地域作業療法学	HOT-412-1		○	○	○	○		○	○	○	○	○
84	健康福祉学部	専門教育科目	地域作業療法学実習	HOT-413-1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
85	健康福祉学部	専門教育科目	就労支援技術論演習	HOT-414-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法支援機器研究	HOT-415-1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
87	健康福祉学部	専門教育科目	メンタルヘルス作業療法	HOT-416-1	○	○			○	○	○	○	○	○	○
88	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法理論と実践	HOT-417-1		○	○	○	○		○	○	○	○	○
89	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法事例研究	HOT-418-1		○			○	○	○	○			
90	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法学研究法	HOT-326-1		○	○		○	○	○	○	○	○	
91	健康福祉学部	専門教育科目	卒業研究	HOT-419-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	健康福祉学部	専門教育科目	作業療法マネジメント論	HOT-420-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	健康福祉学部	専門教育科目	専門職間連携演習Ⅰ	HOT-421-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	健康福祉学部	専門教育科目	専門職間連携演習Ⅱ	HOT-422-1	○	○		○		○	○	○	○	○	

(別表2)健康福祉学部放射線学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果(d.+ e.)									
				d.知識・理解及び技術		e.普遍的に有用性を持つ能力							
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術	幅広い教養としての知識・理解	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解	
				自らの専門分野の理論・概念の概要を理解するとともに、方法論に関する基本的知識を身に付けており、情報・データを活用して、社会生活及び職業生活における課題解決のために応用することができる。	自らの専門とは異なる分野・領域についての知識やものの考え方、多角的な視野など、社会人として必要な幅広い教養を身に付けてお生活及び職業生活における課題解決のために応用することができる。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、相手の意見や疑問を的確に理解し、協議して行動することができる。	コミュニケーション能力	情報通信技術等を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
健康福祉学部	専門教育科目	医療英語 a	HRS-2 01-2	日本における共通の慢性疾患と急性疾患のいくつかを紹介し、各疾患に関連した適切な英単語を習得し、英語のライティングおよびリーディングスキル等を強化することを目的とする。			○		○	○	○		○
健康福祉学部	専門教育科目	医療英語 b	HRS-2 02-2	医療英語の適切な表現を学習し、医療現場における適切な英語のコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。			○		○	○	○		○
健康福祉学部	専門教育科目	基礎解剖学	HRS-1 01-1	骨格系、筋系、尿管系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖系、内分泌系、神経系、感覚器系の系を総合的に学習し、人体の構造に関する基礎的知識を習得する。					○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	基礎生理学	HRS-1 02-1	人体を構成している諸器官・臓器の正常な機能とそれらの調節・制御機構を理解し、自然科学の目から統合的に人体を把握することを学習目標とする。					○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	生化学	HRS-1 03-1	生命活動に必要な物質の機能と、それらの代謝機構を理解することを学習目標とする。					○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	基礎統計学	HRS-1 08-1	統計ソフトを利用して確率分布の理解と作成ができ、またそれを基に医療データの検定を行い、解析結果からわかることを説明が出来るようすることを学習目標とする。さらに統計ソフトのスキルも身につける。				○	○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	画像解剖学	HRS-2 03-1	人体の解剖を、さまざまな画像検査で抽出される画像と対比しながら学び、画像上に示される各臓器の正常像を理解する。また、必要に応じて臓器の生理についても理解する。				○	○	○	○		
健康福祉学部	専門教育科目	病態学	HRS-2 04-1	疾病発生の場である諸臓器・組織の機能的形態学的特性と諸疾患の特徴を講義する。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	放射線医学概論	HRS-4 01-1	放射線医学において、基となる科学と基本的な原理・原則とその臨床応用技術や手技などに関する知識を習得する。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	薬理学概論	HRS-1 04-1	生理学・生化学の基礎知識を踏まえて、薬物の作用発現の作用機序と生体との相互作用について学習する。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	公衆衛生学	HRS-1 05-1	人間集団を対象として、疾病予防、寿命の延長、身体的・精神的・社会的健康度の向上を図る学問ないし活動領域である公衆衛生学について系統的に学習する。					○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	画像解剖学演習	HRS-2 05-1	人体の解剖を、さまざまな画像検査で抽出される画像と対比しながら学び、画像上に示される各臓器の正常像を理解する。また、必要に応じて臓器の生理についても理解する。				○	○	○	○		○
健康福祉学部	専門教育科目	内科学	HRS-3 01-1	臨床医学的側面を基礎医学的知識(生理学および生化学)を用いて各臨床分野に応用し、その病態生理を把握させることを学習目的とする。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	整形外科学 I	HRS-3 02-1	疾病総論と外傷学を中心に、多くの疾患のうちから主要となる各疾患の病態、症状、診断、治療、予後の概要を講義する。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	外科学	HRS-3 03-1	将来医療に携わる関係者として、外科系の患者を扱う際に必要な基本知識について概説する。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	神経内科学	HRS-3 04-1	神経解剖学の概要を把握させ、臨床神経学の各疾病の病態生理学を把握させることを学習目標とする。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	脳神経外科学	HRS-3 05-1	脳神経外科学が対象とする中枢神経系疾患の病態生理と治療法を学習し、リハビリテーション医学への応用を考える。			○		○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	救急医学	HRS-4 02-1	最新のガイドラインに基づいた心肺蘇生法、ショック、意識障害、重度外傷、環境因子、感染症、災害対応等、各救急領域の学問に対する概要と対応法について学習し理解を深める。			○		○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	小児科学	HRS-4 03-1	小児を全人的に理解ができるように、小児保健・小児疾患の知識を総合的に会得し、他の医療スタッフと同一レベルで医療行為が可能となることを目標とする。			○		○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	感染・免疫学	HRS-1 06-1	パラメディカルに進む者にとって病原微生物と人の関わりあいの基本像を理解することを目的に講義する。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	医用電気工学	HRS-2 06-1	医用放射線技術を理解する上で電気工学系の知識は極めて重要なため、必要な項目について講義する。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	医用電子工学	HRS-2 07-1	本講義では、放射線計測器と半導体電力変換機器の動作を理解する上で必要な項目について講義する。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	医用電気電子工学実験	HRS-2 08-1	本実験では、放射線機器の動作原理や取り扱い等を理解する上で基本となる、電気工学および電子工学に関する技術を習得することを目的とする。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	医用物理学 I	HRS-2 09-1	放射線の医学利用に不可欠な放射線の物理的性質が理解でき、放射線と物質に関する基本的事項の理解を深める。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	医用物理学 II	HRS-2 10-1	放射線の医学利用に不可欠な放射線の物理的性質が理解でき、放射線の発生と放射線と物質との相互作用に関する基本的事項の理解を深める。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	放射線生物学	HRS-2 11-1	放射線の生物作用機序を理解し、分子・細胞・組織・個体のそれぞれのレベルでの放射線の影響を学習する。さらに腫瘍組織に対する放射線の効果を学ぶ。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	放射線計測学	HRS-2 12-1	放射線量測定の原理を理解し、気体の電離を利用した検出器の知識を習得する。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	医用核磁気学	HRS-3 06-1	MRIのシステムを理解し、安全・正確扱うための知識を習得する。				○	○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	放射化学	HRS-2 13-1	放射線の発生や放射線量、放射性同位元素の特性とその製造、および利用法に関する諸知識を習得する。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	放射線科学実験	HRS-3 07-1	放射線科学実験をとおして放射線及び放射性物質について、科学的な視点からアプローチする方法の理解と、基礎的な手法を修得する。			○		○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	応用数学	HRS-2 14-1	放射線物理学および医用画像情報学分野において基礎となる定理および公式を理解し、今後の専門知識を学習する上で必要となる数学の基礎知識を習得する。					○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	放射線科学概論	HRS-1 07-1	放射線の基礎、放射線・放射能の単位、X線の性質、放射線の医学への利用法、について習得する。					○	○	○	○	

(別表2)健康福祉学部放射線学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果(d.+ e.)								
				d.知識・理解及び技術		e.普遍的に有用性を持つ能力						
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術	幅広い教養としての知識・理解	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解
				自らの専門分野の理論・概念の概要を理解するとともに、方法論に関する基本的知識を身に付けており、情報・データを活用して、社会生活及び職業生活における課題解決のために応用することができる。	自らの専門とは異なる分野・領域についての知識やものの考え方、多角的な視野など、社会人として必要な幅広い教養を身に付けてお生活及び職業生活における課題解決のために応用することができる。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、相手の意見や疑問を的確に理解し、協議して行動することができる。	情報通信技術等を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会への理解を深める。
33	健康福祉学部 専門教育科目	放射線計測学演習	HRS-2 15-1	固体・液体検出器および化学反応を利用した検出器について理解する。				○	○	○		
34	健康福祉学部 専門教育科目	医用原子核概論	HRS-2 16-1	核医学や放射線計測の基礎となる原子核の構造や放射性崩壊、核反応に関する知識を習得する。				○	○	○		
35	健康福祉学部 専門教育科目	システム工学	HRS-3 08-1	放射線機内で用いられる制御回路について、個々のシステムが持つ特性と、それを最適に制御するための基本的な考え方について講義する。				○	○	○		
36	健康福祉学部 専門教育科目	ペイシエントケア論 I	HRS-2 17-1	医療現場における患者接遇の重要性を理解し、実践できる技術を習得する。		○	○	○	○	○	○	○
37	健康福祉学部 専門教育科目	ペイシエントケア論 I 演習	HRS-2 18-1	臨床現場で欠かせない医療の基本技術について理解を深め演習やディベートを通して習得する。		○	○	○	○	○	○	○
38	健康福祉学部 専門教育科目	X線撮影技術学 I	HRS-2 19-1	造影剤を用いない単純X線撮影検査法の実践に必要な基礎的事項について学習する。		○	○	○	○	○		
39	健康福祉学部 専門教育科目	X線撮影技術学 II	HRS-2 20-1	X線画像診断装置のシステムを理解し、安全・正確扱うための知識を習得する。		○	○	○	○	○		
40	健康福祉学部 専門教育科目	X線撮影技術学実習 I	HRS-2 21-1	X線画像診断装置のシステムを理解し、安全・正確扱うための技術を習得する。		○	○	○	○	○		
41	健康福祉学部 専門教育科目	X線撮影技術学実習 II	HRS-3 09-1	画像診断装置のシステムを理解し、安全・正確扱うための知識を習得する。		○	○	○	○	○		
42	健康福祉学部 専門教育科目	X線診断機器学 I	HRS-2 22-1	X線診断機器に関する構造・原理・動作特性などの知識を習得し、X線診断に適用できる能力を養う。				○	○	○		
43	健康福祉学部 専門教育科目	X線診断機器学 II	HRS-3 10-1	各種診断用X線装置システム及び関連機器などの原理・構成・規格について理解し、診療放射線技術に必要な知識・能力を養う。				○	○	○		
44	健康福祉学部 専門教育科目	X線診断機器学実験	HRS-3 11-1	各種X線診断機器および関連機器の性能・特性を理解し、診療放射線技術や被ばく線量低減との関連性を学ぶ。				○	○	○		
45	健康福祉学部 専門教育科目	診療画像医学 I	HRS-2 23-1	臨床診断に用いられる画像検査法の原理と適応を理解し、対象となる疾患の病理、画像所見ならびに画像診断につき学ぶ。			○	○	○	○	○	
46	健康福祉学部 専門教育科目	画像診断撮像技術学	HRS-3 12-1	画像診断装置のシステムを理解し、得られる画像のコントラスト形成機序を説明できるようになる。			○	○	○	○		
47	健康福祉学部 専門教育科目	超音波技術学	HRS-2 24-1	主に上腹部臓器の検査法や正常例および典型的な臨床画像を多数観察することで超音波検査について理解することを到達目標とする。		○	○	○	○	○	○	
48	健康福祉学部 専門教育科目	空間応用数学	HRS-2 25-1	診療放射線技師業務において必要となる数学と力学を統合できる知識を習得する。			○	○	○	○		
49	健康福祉学部 専門教育科目	診療画像医学 II	HRS-3 13-1	臨床診断に用いられる画像検査法の原理と適応を理解し、対象となる疾患の病理、画像所見ならびに画像診断につき学ぶ。			○	○	○	○	○	
50	健康福祉学部 専門教育科目	造影撮像学	HRS-3 14-1	各種造影剤の造影機序を理解し、得られる画像のコントラスト形成機序を説明できるようになる。			○	○	○	○		
51	健康福祉学部 専門教育科目	医用画像機器学	HRS-3 15-1	デジタル画像機器を中心とした各種医用画像機器の安全管理、品質保証について講述する。				○	○	○		
52	健康福祉学部 専門教育科目	核医学 I	HRS-3 16-1	放射性医薬品の取扱方法及び核医学検査各論について、診療放射線技師に必要な知識を習得する。				○	○	○	○	
53	健康福祉学部 専門教育科目	核医学 II	HRS-3 17-1	核医学検査各論とRI内用療法について、診療放射線技師に必要とされる知識を習得する。				○	○	○	○	
54	健康福祉学部 専門教育科目	核医学診断機器学	HRS-3 18-1	核医学診断機器学に関する基礎的な理論や技術を学び、実際の核医学検査に当てはめて考えることができる。				○	○	○	○	
55	健康福祉学部 専門教育科目	核医学検査技術学	HRS-3 19-1	核医学検査技術学に関する基礎的な理論や技術を学び、実際の核医学検査に当てはめて考えることができる。				○	○	○	○	
56	健康福祉学部 専門教育科目	核医学検査技術学実習	HRS-3 20-1	核医学検査技術学について、科学的な視点からアプローチする方法の理解と、検査技術の手法を修得する。				○	○	○	○	
57	健康福祉学部 専門教育科目	放射線腫瘍学 I	HRS-3 21-1	放射線腫瘍学、生物学と局所解剖学の基礎知識を前提として、放射線腫瘍学の基礎と総論を学修する。			○	○	○	○	○	
58	健康福祉学部 専門教育科目	放射線腫瘍学 II	HRS-3 22-1	放射線腫瘍学について、臓器別の各論と最近のトピックスを学修する。			○	○	○	○	○	
59	健康福祉学部 専門教育科目	放射線治療技術学	HRS-3 23-1	放射線治療における加速線の加速原理、照射系機構、放射性同位元素を線源とする照射装置、器具の特性、さらに品質管理を学修する。				○	○	○	○	
60	健康福祉学部 専門教育科目	放射線治療機器学	HRS-3 24-1	外部照射と小線源治療における用語、吸収線量計測法、線量計算法、照射部位ごとの照射技術など、放射線治療における基礎的知識を修得する。				○	○	○	○	
61	健康福祉学部 専門教育科目	放射線治療技術学実習	HRS-3 25-1	放射線治療技術学、放射線治療機器学、ペイシエントケアなどで学習した知識を統合し、臨床実習で行動できる技術を修得する。		○	○	○	○	○	○	○
62	健康福祉学部 専門教育科目	ペイシエントケア論 II	HRS-3 26-1	核医学と放射線治療について、専門的な視点からのペイシエントケアの理解と、対応について修得する。		○	○	○	○	○	○	○
63	健康福祉学部 専門教育科目	医用画像写真学	HRS-2 26-1	写真は理工学等にわたった学際的学問であるため、原理・現像方法・特徴を学習し、医療画像作成の基礎力と応用力を養う。				○	○	○		
64	健康福祉学部 専門教育科目	医用画像情報学	HRS-2 27-1	医用画像の成り立ちに必要な画像情報の理論を理解し、画像解析、画像処理、幾何学的変換および医用情報システムの基礎知識を習得する。				○	○	○		

(別表2)健康福祉学部放射線学科カリキュラム・マップ

■専門教育科目

提供	a.科目群 (基礎科目群)	b.授業科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果(d.+ e.)								
				d.知識・理解及び技術		e.普遍的に有用性を持つ能力						
				専門分野の基本的な知識・理解及び技術	幅広い教養としての知識・理解	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
				自らの専門分野の理論・概念の概要を理解するとともに、方法論に関する基本的知識を身に付けており、情報・データを活用して、社会生活及び職業生活における課題解決のために応用することができる。	自らの専門とは異なる分野・領域についての知識やものの考え方、多角的な視野など、社会人として必要な幅広い教養を身に付けており、人間・社会や自然・生命に関する様々なテーマについて考え、理解を深めることができる。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、相手の意見や疑問を的確に理解し、協調して行動することができる。	情報通信技術等を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
健康福祉学部	専門教育科目	医用画像情報学実験	HRS-2 28-1	写真基礎、医用画像の成り立ちに必要な画像情報の理論、画像解析、評価、処理について実験を通して理解を深める。		○	○	○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	医用画像工学	HRS-3 27-1	アナログ系・デジタル系画像双方の評価方法を習得し、コンピュータ支援診断の基礎と3次元表示法を理解する。				○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	医用画像情報学演習	HRS-2 29-1	医用画像情報学で習得した医用画像の基礎知識を演習で実践し、医用画像処理に関する知識を深めることを目標とする。				○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	医用画像工学演習	HRS-3 28-1	実践的な演習によって、画像評価の基礎および応用を習得することができ、医用画像処理に関する知識をより深める。				○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	放射線安全管理学	HRS-2 30-1	放射線安全管理学に関する基礎的な理論を学び、現実のデータを用いて簡単な事象を検証できる。				○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	放射線安全管理学実験	HRS-2 31-1	放射線及び放射性物質について、科学的な視点からアプローチする方法の理解と、基礎的な手法を修得する。				○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	放射線関係法規Ⅰ	HRS-3 29-1	医用放射線を扱うことに対する法令全般について理解し、診療放射線技師法および医療法の知識を習得する。				○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	放射線関係法規Ⅱ	HRS-3 30-1	放射線防護および放射線労働に関する法令全般について理解し、放射線障害防止法の知識を習得する。				○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	医療安全管理学	HRS-3 31-1	医療現場における医療事故の発生要因を考察し、専門職としての適切な対抗および処置、原因の分析と評価を行い、安全な医療を提供するために必要な医療安全管理について学習する。		○	○	○	○	○	○	
健康福祉学部	専門教育科目	画像診断臨床実習	HRS-3 32-1	実際の診療放射線業務を通して医療従事者としての自覚、協調性、患者に対する接遇などについて学ぶ。		○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	核医学臨床実習	HRS-4 04-1	核医学検査について、臨床的な視点からアプローチする方法の理解と、検査技術や患者取り扱い法を修得する。		○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	放射線治療臨床実習	HRS-4 05-1	放射線治療技術学、放射線腫瘍学、放射線治療機器学、ペインメントケア論などで学習した知識を統合し、より確実な知識とともに、一人の医療技術者として臨床において行動できる技術を修得する。		○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	特別研究Ⅰ	HRS-3 33-1	特別研究Ⅰをとおして、理論、実験、調査などの研究を実施することにより、自ら問題を見つけ、探求し、解決する能力を養い修得する。		○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	特別研究Ⅱ	HRS-4 06-1	特別研究Ⅱをとおして、理論、実験、調査などの研究を実施することにより、自ら問題を見つけ、探求し、解決する能力を養い修得する。		○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	特別研究Ⅲ	HRS-4 07-1	特別研究Ⅲをとおして、理論、実験、調査などの研究を実施することにより、自ら問題を見つけ、探求し、解決する能力を養い修得する。		○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	専門放射線学セミナーⅠ	HRS-3 34-1	専門放射線学セミナーⅠをとおして、理論、実験、調査などのセミナーを実施することにより、自ら問題を見つけ、探求し、解決する能力を養い修得する。		○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	専門放射線学セミナーⅡ	HRS-4 08-1	専門放射線学セミナーⅡをとおして、理論、実験、調査などのセミナーを実施することにより、自ら問題を見つけ、探求し、解決する能力を養い修得する。		○	○	○	○	○	○	○
健康福祉学部	専門教育科目	専門放射線学セミナーⅢ	HRS-4 09-1	専門放射線学セミナーⅢをとおして、理論、実験、調査などのセミナーを実施することにより、自ら問題を見つけ、探求し、解決する能力を養い修得する。		○	○	○	○	○	○	○